

科目名	地理情報システム／地域情報システム	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	藤田 晴啓		実務経験の有無		○
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-B-2-430021	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	上記のディプロマポリシーに加え、経営情報学部のディプロマポリシーとして「仕事の仕組みを系統的に考え、データを重視した論理的な判断ができること」がある。その具体的手法として「地域研究のための空間データ分析」がある。地域社会情報の可視化、地域の歴史と文化財の分析、商業、観光、よりよい住環境やまちづくりに空間解析は不可欠である。本授業・実習では特に空間情報と国土数値情報から得られる商圏人口データの解析を中心とする。さらに、歩いて暮らせるまちの検証、安全安心まちづくりの検証を行い、人がもっと定住して付加価値を生み出すまちづくりができるツールとしてのGIS（地理情報システム）を学習する。				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 1 基盤地図情報および地域社会情報の可視化が地理情報システムでできる 2 地域のインフラ、商業、まちづくりに関する地理情報分析ができる 3 商圏人口解析にGISを活用できる 4 地域研究をグループワークで遂行し、総合的な発表ができる 				
実務経験との関連性	平成元年からのGIS実務経験 新潟市統合型地理情報システム再構築業務に関し専門的立場から意見を助言する (令和3年度)				

授業計画	
第1回	講義・実習の意義と目的 なぜ地理情報システムを学ぶのか? QGISのインストール
第2回	GIS（地理情報システム）の基本概念、テキスト第1章
第3回	基盤地図情報の可視化、テキスト第2章

第4回	地域社会情報の可視化, テキスト第3章, 境界データダウンロード, 統計データとの結合
第5回	地域の歴史と文化財に関する分析, テキスト第4章, ポイントcsvデータの読み込と保存
第6回	地域における商業の分析-1, テキスト第5章, iタウンページによるコンビニエンスストアの店舗および住所のデータ作成, 住所から地理座標取得,
第7回	地域における商業の分析-2, テキスト第5章, コンビニエンスストアの商圏人口計算
第8回	空間的な定量評価, テキスト第6章, ポイントデータ間の直線距離と分布特性の計測
第9回	都心居住と土地利用の評価, テキスト第7章その1
第10回	都心居住と土地利用の評価, テキスト第7章その2
第11回	都心居住と土地利用の評価, テキスト第7章その3
第12回	グループ別地域研究1 指定業種店舗の商圏人口解析
第13回	グループ別地域研究2 指定業種店舗の商圏人口解析

第14回	グループ別地域研究発表会
第15回	授業のまとめと小テスト
第16回	定期試験は実施しない 通常授業・実習で作成する地図情報のプリントアウトレイヤ（pdfフォーマット）、 店舗名・地理座法データ、商圏人口の積算結果等の課題8程度

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	指定するテキスト範囲の読解および授業前に配布する授業ノート（配布時には連絡する）による予習2時間以上
【復習】時間・内容	毎回実施したGIS操作実習およびテキストによる復習（2時間以上）

成績評価	
評価基準・方法	課題80%、グループプレゼン20%
フィードバック方法	グループプレゼンには評価を口頭でフィードバックする

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク／プレゼンテーション／実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	地域研究のための空間データ分析入門 愛知大学三遠南信地域連携研究センター編 古今書院 ISBN 9784772253246 2,800円＋税
受講上の留意点等	毎回の授業で個人ノートPC持参が必要です 事前にテキスト146ページQGISダウンロードを行うことが受講条件です 詳細は事前に連絡します
JABEE	